

## オーストラリア 遺伝子組み換えTR4抵抗性バナナの消費を承認

PRODUCE PLUS 2024年2月22日

20年にわたる研究の後、QUTはオーストラリア政府の承認を受けてQCAV-4品種の商業リリースを準備

オーストラリア政府は、クイーンズランド工科大学(QUT)に対し、パナマ病熱帯株4(TR4)に高い抵抗性を持つキャベンディッシュバナナの遺伝子組み換え(GM)品種であるQCAV-4を商業的にリリースするライセンスを発行した。

また、オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)は、QCAV-4が人間の消費に適していることを承認したと食料大臣会議(FMM)に通知した。

FMMは、オーストラリアの州及び準州の政府、オーストラリア連邦政府並びにニュージーランド政府の食料担当大臣で構成されており、FSANZの決定を批准するか再検討を要請するまでに60日間の猶予がある。

QCAV-4バナナは、世界で初めて商業生産が承認された遺伝子組み換えバナナであり、オーストラリアで初めて同国内での栽培が承認された遺伝子組み換え果実でもある。QCAV-4は、世界中で200億米ドルを産出するバナナ産業を脅かす壊滅的なTR4に対する潜在的なセーフティネットを提供する。

QUTのマーガレット・シェイル副学長は、同大学のQCAV-4チームは25年以上にわたってバナナのバイオテクノロジー研究プログラムをバナナ研究の最前線としてきており、同チームにとってこれは重要なマイルストーンであるとして、「このことは、基礎研究が商業化の道りを経て具体的な成果へと進んでいる素晴らしい事例である。本学は、その資金提供者やパートナーらとともに、20年にわたってこの研究を支援してきたので、このマイルストーンに到達できたことを喜ばしいと思う」と述べた。

QCAV-4は、東南アジアの野生バナナ *Musa acuminata* ssp *malaccensis* に由来する単一の抵抗性遺伝子RGA2でバイオエンジニアリングされたグランドナインバナナ(キャベンディッシュの一種)である。

この品種は、政府と産業界の協力を得て開発され、北部準州の試験ほ場で7年以上にわたって栽培されており、TR4に対して高い抵抗性があることが証明されている。キャベンディッシュバナナはすでにRGA2遺伝子を持っているが、休眠状態である。

QUTのジェームズ・デール特別教授とそのチームは、20年以上にわたって遺伝子組み換えキャベンディッシュバナナの開発と栽培に取り組んできた。デール教授は、「これはQCAV-4にとって大きな一歩であり、長年の開発を経て実現した。この決定は、すでに世界の多くの地域で影響を与えているTR4に対してキャベンディッシュバナナのセーフティネットを構築するための非常に重要なステップであり、我々はこの決定を歓迎する」と述べている。

TR4は世界のバナナ生産に壊滅的な影響を与えてきているが、バイオセキュリティ規則はこれまでのところ、オーストラリアのバナナ産業の大部分においてパナマ病TR4の影響を抑制できている。現時点では、オーストラリアの消費者向けにQCAV-4バナナを栽培または販売する計画はない。

### (関連記事)オーストラリア 初のTR4抵抗性遺伝子組み換えバナナを承認

FreshFruitProtal 2024年2月16日

オーストラリア政府は、クイーンズランド工科大学(QUT)に対し、新しい遺伝子組み換え(GM)キャベンディッシュバナナ品種を商業的にリリースする公式の承認を与えた。

QCAV-4バナナは、商業生産が承認された世界初の遺伝子組み換えバナナであり、オーストラリアで初めて同国内での栽培が承認された遺伝子組み換え果実である。

この新しい品種は、世界の200億米ドルのバナナ産業を脅かすパナマ病熱帯株4(TR4)の壊滅的な影響と戦うことを期待して開発された。

QUTのジェームズ・デール特別教授は、「TR4はオーストラリアや他の多くの国々でキャベンディッシュバナナを枯らしている。感染は拡大しており、状況は悪化している」と言う。

デール教授とそのチームは、20年以上にわたって遺伝子組み換えキャベンディッシュバナナの開発と栽培に取り組んできた。

同教授は、「QCAV-4バナナを分析し、普通のキャベンディッシュと比較した。組成はまったく同じなので、味に何らかの違いがあるとは思わない。しかし、近いうちに独立した味覚試験パネルを設置する予定である」と述べた。

同教授は、この新品種は遺伝子が1つ異なるだけなので、その棚持ちは従来のキャベンディッシュバナナと同様であるはずだと説明する。同教授のチームは、QCAV-4はほ場で同じように成熟することも観察している。

TR4に対する抵抗性について同教授は、QCAV-4には、病気に対して完全な抵抗性を有する野生のバナナから採取された遺伝子が含まれているとして、「我々がたどり着いたものはキャベンディッシュのように見えるが、たった1つの遺伝子の違いからTR4に抵抗性がある」と説明する。

野生の抵抗性バナナは収量が非常に少なく、「種でいっぱい」であるため、商業的栽培には適さないとデール教授は説明する。

キャベンディッシュバナナは世界で最も人気のあるバナナであり、世界のバナナ生産量の約50%がこの品種であると推定されている。

## フィリピン 2023年のバナナ輸出は増加

FreshPlaza 2024年2月22日

2023年のフィリピンのバナナ輸出量が、一時はパナマ病によって荒廃した地域からの生産量の増加に支えられ、4年間の低迷に終止符を打ったことは注目すべき反転である。フィリピン統計局は、出荷量が前年比3.5%増の235万4千トンになったと報告している。この回復により、輸出額は2022年の数値から11%増の12億2千万ドルと3年ぶりの高水準に達した。

フィリピン・バナナ生産者輸出業者協会のスティーブン・アンティグ事務局長は、この回復はパナマ病の影響を受けた農場の復旧に向けた絶え間ない努力によるものであるとして、慎重ながらも楽観的な見方をしている。この増加にもかかわらず、厳しい国際競争や最近のミンダナオ島での洪水などの問題が、業界の祝福に水を差している。この洪水がプランテーションの運営を妨げ、次の四半期の輸出量を減少させる恐れがある。

アンティグ氏はまた、グアテマラが台頭し、従来フィリピンが占めていた世界第2位のバナナ輸出国として地位を奪われたことに懸念を表明した。同氏は、現在パナマ病で荒廃している少なくとも1万7千～1万8千ヘクタールと推計される地域の回復や拡大のための継続的な取組みを強調した。これらのハードルはあるものの、継続的な復旧の取組みにより、今後の生産が強化されることが期待されている。

出典: [philstar.com](http://philstar.com)